

メタル修復物以外の強固な接着を必要とする症例には G-マルチプライマーを修復物側へ、接着強化プライマーを支台歯・窩洞側へ塗布

メタル修復物以外の接着におけるステップ例

必ず修復物ごとに適切な前処理を行ってください。

- ① CAD/CAM冠内面の前処理**
アルミナサンドブラスト処理
粒径: 25~50 μ m
噴射圧: 0.1~0.2MPa
- ② 支台歯の清掃**
超音波スケーラー、
PTCブラシなどを用
いて仮着材を除去
- ③ 試適後の清掃**
試適後、リン酸によっ
て清掃し、十分に水
洗・乾燥

G-マルチプライマー
すべての修復物に塗布可能
● すべての修復物に対応するので塗り分け不要
● 修復物へのシランカップリング処理
0秒放置 乾燥

接着強化プライマー
すべての支台歯・窩洞に塗布可能
● すべての支台歯、窩洞に対応するので塗り分け不要
● 「G-プレミオ ボンド」で実績のある接着性モノマーを配合、
さらにタッチキュア効果(重合促進効果)により強固に支台歯、窩洞に接着。
10秒放置 強圧エア-5秒乾燥

修復物: G-マルチプライマー, ジーセム ONE neo
支台歯: 接着強化プライマー

ステップ: 術前 → 接着強化プライマーを支台歯に塗布 → G-マルチプライマーを修復物に塗布 → ジーセム ONE neo セメントを修復物に塗布 → タックキュア(照射1秒程度) → 余剰セメント除去 → 術後

材料: ガラスセラミックス, ジルコニア, ファイバーポストレジンコア, メタルコア

修復物	メタル	ジルコニア	CAD/CAM冠 ・ハイブリッドレジン ・ガラス(プレス)セラミックス ・ファイバーポストレジンコア (間接法)
プライマー	●	●	●
修復物に塗布 G-マルチプライマー	一 不要	○ 適宜	● 必要
支台歯(歯質・メタル・レジン) 窩洞に塗布 接着強化プライマー	一 不要	○ 適宜	● 必要

■ タックキュア効果(重合促進効果)

CAD/CAM冠
セット時に効果を発揮!

支台歯(窩洞)に塗布された接着強化プライマーとセメントが接触することにより、プライマー中に含まれる化学重合開始剤がセメントの硬化を促進し、支台歯(窩洞)側から重合反応が始まり、装着後、接着界面から安定した接着性を発現します。

修復物: G-マルチプライマー, ジーセム ONE neo
支台歯・窩洞: 接着強化プライマー

■ 脱離クレーム率0.0004%

先生方よりお寄せいただいた脱離情報、ジーセム ONEでの推定SET本数より算出。

ジーセムONE使用時にユーゾール系製剤、過酸化水素水、クエン酸系歯面処理剤等を併用すると、接着を阻害する可能性があります。

脱離クレーム率
0.0004%

※集計期間: 2018年3月~9月(当社調べ)

